

2024年

8月号

ふれあいネットワーク



やめ社協だより

発行●社会福祉法人八女市社会福祉協議会(八女市社会福祉会館内) 〒834-0031 八女市本町599番地



～地域の高齢者と子どもたちとのふれあい事業～

みんなでどろんこになって「田植え」をがんばりました！



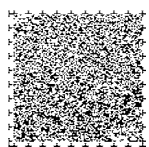
○ふれあい田んぼの「田植え」

八女市社会福祉協議会矢部支所では、平成6年から稲作を通して地域住民と次世代を担う子どもたちとの世代間交流及び伝承を目的に「ふれあい田んぼ」を実施しています。

6月13日(木)、地元農家にご協力いただき、総勢43名(矢部保育園ゆり組5名、矢部清流学園1・2年生12名、地元シニアクラブ9名、特別養護老人ホームゆいのもり入所者と地域住民等17名)で、伝統的な田植え「はしご植え」を実施しました。

当日は晴天の中、地元の皆さんの熱心な指導のもと、子どもたちは泥だらけになりながら慣れない手つきで一生懸命に、苗を植えていました。田んぼには、発生すると豊作になるといわれる伝承があるホウネンエビ(豊年蝦)が多く見られ、子どもたちに説明すると、「お米がたくさんできるなら頑張って植えよう。」「稲刈りが楽しみ。」といった言葉が聞かれました。シニアクラブの方からは「平成6年の開始時から関わっているが、場所や人は変わっても、継続して伝承できている事が嬉しい。」等の感想が聞かれました。田植え後、子どもたちから、ご協力いただいた方々に、「いろいろ教えていただき、ありがとうございます。」とお礼の言葉がありました。稲刈りも楽しみにしています。

10月には「収穫祭(稲刈り)交流会」を予定しています。



●ボランティア団体イベント報告



ボランティアによる芸能披露!!

6月16日(日)、黒木町ボランティア連絡協議会の主催により、ボランティア芸能『夢ゆとり』が開催されました。

この催しは日頃から地元で取り組んでいる、ボランティア活動を住民の皆さんに知っていただくことと、会員同士の交流を目的として開催されています。当日は100名以上の地域住民が参加され、会場は大きな歓声で賑わいました。

舞台では、舞踊ボランティア「花みずき」による日本舞踊をはじめ、布絵本製作ボランティア「虹の会」によるパネルシアターや今年度から加入された「黒木ひまわり会」による合唱曲が披露され、最後は、全員で「幸せなら手をたたこう」等、3曲を合唱して、締めくくられました。

参加者からは、「踊りがきれいにそろって良かった。」「久しぶりに大きな声で歌いました。みんなで一緒に歌えて楽しかった。」「来年も楽しみにしています。」「といった声が聞かれました。

ボランティアの皆さんは、生きがいやこれからのさらなる目標につながり、地域住民の皆さんにとっては、「何か自分でもやってみたい。」「新たな活動につながるきっかけになったようです。



▲「花みずき」の日本舞踊



▲「虹の会」のパネルシアター



▲「黒木ひまわり会」のコーラス

●地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況報告

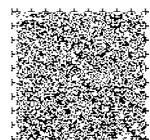


人と人 人と地域がつながる 地域共生社会づくりをめざして

八女市と八女市社会福祉協議会では、地域福祉の推進を目的に「理念」と「仕組み」を定める「八女市地域福祉計画」及びその実践的な行動計画となる「八女市地域福祉活動計画」を一体的に策定しています。また、第3次計画(令和5年度～9年度)では、地域共生社会の実現に向け、「第1次八女市再犯防止推進計画」も内包する形で策定しています。

これらの計画の推進委員会を設置し、事業の推進状況などを審議しながら評価・検討を行い、誰もが安心して暮らしていくことができる地域共生社会の実現に向け、福祉の視点からの地域づくりに取り組んでいます。

八女市公式HP
第3次計画



〇7月5日(金)、推進委員会 での意見

・8050問題やヤングケアラー等、様々な相談を受けるが、複雑化、複合化した課題の助言が難しい。専門職による相談窓口の周知をもっとしてほしい。

・男性からの相談が少ない。男性は、誰かに相談することに抵抗があるので、男性が相談しやすいような工夫も検討してもらいたい。

これら以外にも、さまざまな生活課題の意見が出され、計画推進に向け、活発な議論が行われました。



▲7/5(金) 地域福祉計画・活動計画推進委員会の様子

●地域介護予防の取り組み

みんなで健康！ 新たなフレイルサポーター誕生

「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか？フレイルとは「虚弱」を意味し、心身の活動が低下し、要介護状態となる一歩手前の状態をいいます。外出の自粛が続き、身体を動かさなくなったり、人との交流がなくなったりする生活が続くと、フレイルが進行する恐れがあります。

八女市では、市民の皆さんと医療関係との協働により、いつまでも健康で安心してともに暮らせる環境づくりのための取り組みとして「フレイル予防」を推進しています。

6月には、フレイル予防事業に協力していただく「フレイルサポーター」の養成講座を開催しました。今回は10名の受講生があり、フレイル予防や介護予防に関する座学・実技講習を受講され、晴れてフレイルサポーターとなっていただきました。フレイルサポーターは、八女市内のふれあいサロンに出向いたり、地域の様々なイベントに参加し、フレイルチェックを行う等、フレイル予防啓発に取り組んでいかれます。



▲受講者に現役フレイルサポーターがフレイルチェックのアドバイスを行いました



▲練習会の様子（滑舌測定）

●災害ボランティアセンター研修会報告

災害を想定して災害ボランティアセンター運営の訓練を実施

6月16日(日)、柳川市三橋生涯学習センターにおいて開催された、「令和6年度南筑後地区災害ボランティアセンター研修会」に八女市社会福祉協議会から参加しました。

毎年、甚大な被害を及ぼす災害が発生しています。八女市においても昨年7月には大雨の影響により、住宅の浸水をはじめ、道路、河川の損壊、道路の寸断による一時孤立集落が発生しました。このような未曾有の災害に備え、昨年度に締結した災害時相互支援協定に基づき、筑後地区南部の4市社協(八女市・大牟田市・みやま市・柳川市)と県社協が協力し、研修や災害を想定した模擬訓練に取り組んでいます。

研修当日は、一般社団法人九州防災パートナーズ代表理事の藤澤健児氏より「被災者の置かれる状況」の講義と二ス聞き取りの模



▲藤澤健児氏の講義



▲二ス票作成の模擬訓練の様子



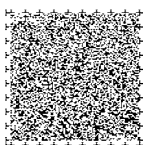
▲二ス聞き取り訓練の様子

擬訓練を行いました。
参加者からは「被災者の潜在的な二スを引き出すことが大切だ。」「被災者が話しやすい雰囲気づくりが必要だ。」といった声がありました。

研修会を通して、迅速な支援につながるよう、職員ひとり一人の動きを確認しました。

災害ボランティアセンターとは…

社会福祉協議会では、災害発生時に状況に応じて、災害ボランティアセンターを開設し、被災者の支援ニーズの把握や整理を行うとともに、支援活動を希望する個人及び団体の受け入れ調整を行い、被災現場へボランティアを派遣しています。





上陽 住み慣れた地域で暮らすために必要なこと

6月21日(金)、地域福祉センターにおいて「上陽地区福祉委員研修会」を開催しました。上陽地区では、自治会ごとに1名の福祉委員が選任され、現在31名が見守りをはじめ、地域住民に何かあったらつなぐ役割を担いながら活動されています。

研修会では、九州大谷短期大学幼児教育学科の中村秀一教授より、少子高齢社会の中で生じる生活課題や施策の流れについて説明されました。講師からは、「住み慣れた地域で安心して暮らすためにはどうしたらいいか、地域で何が困っているのか、今の問題は何なのかを考える」と、今すべきことが見えてきます。明日のためにできることを地域の皆さんと考えましょう。」と話されました。

研修会を通じて講師からは、今は困った時に「助けて。」と言える人が減ってきています。でも助けを求めると助けてくれる人はいます。「助けを求めて支援を受ける力」「受援力」を育むことも大切であることを強調されました。参加された皆さんはつなぐしながら熱心に聞かれ、地域のきずなの大切さを確認されていました。



▲「助けを求めることの大切さ」について話される中村秀一教授



星野 地域の活動がフレイル予防につながる

6月10日(月)、八女市総合保健福祉センターよかぜにおいて「星野地区福祉委員研修会」を開催しました。星野地区では17名が福祉委員として活動されています。研修会では、本会から福祉委員の役割のや小地域福祉活動の重要性をはじめ、4月に移転した授産所麻生園の紹介も行いました。

講演会では「福津市未来共創センター キッカケラボ」ディレクター中村善輝氏をお招きし、「地域を支えるしくみづくりについて」の題名で講演いただきました。講師からは「高齢になって、文化活動やボランティア、地域活動を行うことは、フレイル予防につながる。」と話されました。

研修会を通して、地域活動に参加することの大切さについて、改めて、確認できました。



ゲームプリント機 (特殊印刷機)
 シャツやバッグ、タオルなどの布製品に直接印刷することができるプリンターを導入しました。

スポーツチームのユニホーム トートバッグ、タオル 等への印刷 イベント時のオリジナルのノベルティ 等

▲麻生園に新しく導入した印刷機等の紹介を行いました

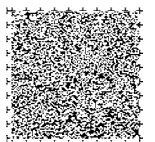


地域の困りごとや地域内の支えあいのしくみについて考える

福祉委員研修会後に、各行政区長(支部長)、民生委員児童委員、福祉委員の皆さんは、4つの行政区に分かれ、三者意見交換会を行いました。地域の課題やこれから出てくるかもしれない生活上の困りごと(こみ出しや買い物)について、地域での助け合いのしくみ「互助・共助」を深めるための意見を出し合いました。その中で、「高齢者が作った野菜でマルシェを行うってどうか。それがフレイル予防につながるのではないか。」等、さまざまな意見が出されました。

他にも、福祉マップの更新を行いました。一人暮らしの高齢者世帯等を把握することにより、災害といった緊急時にスムーズな避難誘導につながるよう、情報の確認を行いました。

地域の課題を共有し解決に向け協議していく場を作っていくことで、安心して暮らせる地域づくりにつながっていきます。





地域で見守り、地域で集おう

4月20日(土)、黒木町馬場行政区で福祉ネットワーク推進委員会が開催されました。一人暮らしや高齢者世帯の見守りについて、「福祉委員と連携を取りながら訪問している」と民生委員児童委員より報告がありました。また、大雨や台風等といった災害時の避難についての連絡体制等を確認されました。

また、同行政区では6月1日(土)に、わくわくサロンが開催されました。「人生100年時代ノート」についてサロンボランティアの安達氏より話をしていただきました。参加者の皆さんは自分の人生を振り返りながらノートに記入していました。「自分の事を見つめ直すきっかけとなりました。」と声がありました。

最後に「フォークデュオ五円玉」の演奏による懐かしい曲を聞きながら、楽しい時間を過ごされました。

地域での見守りや声かけ、サロン活動等は住み慣れた地域で安心して過ごしていただくための活動の一つとなっています。



▲「人生100年時代ノート」の説明をされた安達氏



▲「人生100年時代ノート」に記入してみました



▲「フォークデュオ五円玉」による演奏の様子



▲福祉ネットワーク推進委員会の様子



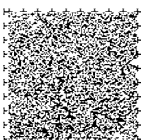
お変わりありませんか？ ゴキブリ団子を配りました

黒木町には90名の福祉委員が、社会福祉協議会会長の委嘱を受け、それぞれの地域で民生委員児童委員のみなさんと連携しながら活動されています。

黒木町上楯原地区では福祉委員を中心にゴキブリ団子を作り、地域の全世帯に配る活動をされています。

今回ゴキブリ団子づくりと配布活動に参加させていただきました。福祉委員と協力者の方が一緒にゴキブリ団子を作られ、出来上がったものを袋に小分けして各家庭へ配られます。ゴキブリ団子を受け取った方は、「毎年ありがたかったです。ありがとうございます。楽しみにしています。助かっています。」と言われました。

普段の生活の中での見守りやつながりが、地域の支え合いを感じることができました。





ほっと館やめ(上陽)より、新たに取り組んでいる『こどもの居場所づくり支援事業』についてご紹介します

近年、様々な理由により、不登校の児童や生徒が全国的に増加しており、不登校等により学ぶ機会を得られない子どもたちのために、いろいろな取り組みがなされています。

ほっと館やめ(上陽)では、今年度より八女市から委託を受けて「こどもの居場所づくり支援事業」を始めました。本事業では、日中の居場所を必要とする子どもたちに、支援員が本人の希望に寄り添いながら、料理や洗濯、他者とのふれあいを通じたコミュニケーション力の向上のための支援をはじめ、学習習慣定着のための支援や本人の意向にそった興味のある活動ができる居場所を提供します。

どなたでも安心して過ごしていただけるようスタッフ一同、居心地の良い居場所づくりに努めて参ります。“見学だけ”でも“話を聞くだけ”でも承りますので、まずはお気軽にご相談ください。

問い合わせは、下記のほっと館やめ(上陽)までお願いします。

保護者の皆様へ

八女市こどもの居場所づくり支援事業

目的…日中の居場所を必要とする子どもたちに、支援員が寄り添いながら生活に必要な体験や学習、興味のある活動ができる居場所を提供します。

内容…①生活経験習得のための支援
料理や洗濯等の家事、他者とのふれあいを通じて、生活リズムやコミュニケーション能力の向上を目指した支援を行います。

②学習習慣定着のための支援
学習への意欲や心身の状態に沿いながら、学習習慣の定着を目指した支援を行います。

※上記内容は一例です。本人の希望や興味・関心に合わせて支援内容を決めていきます。

フリースペース

調理室

開館日 月～金曜日
時間 午前9時～午後6時
(時間内であればいつでも利用できます)

対象者 市内在住の児童・生徒
送迎 ご相談に応じます
利用料 無料

利用について

利用料 無料

- 開館日 月～金曜日(祝日を除く)
- 時間 午前9時～午後6時
(時間内であればいつでも利用できます)
- 対象者 市内在住の児童・生徒
- 送迎 ご相談に応じます
- 場所 ほっと館やめ(上陽)

○ ほっと館やめから8月の行事のお知らせ (会場：ほっと館やめ)



料理教室

料理やおしゃべりで、ほっとするひと時を過ごしてみませんか?

- 日時 8月20日(火)
8月27日(火)
10時～

(8/27は誰でも簡単にできる料理です)

- 参加費 無料
- 持参品 エプロン

笑福クラブ親の会 不登校・ひきこもり親(家族)の会

語り合うことで、心を軽くしませんか?

- 日時 8月10日(土)
13時30分～
(※毎月第2土曜日)
- 内容 交流会・意見交換
- 対象者 不登校やひきこもりの方の家族

精神対話士による無料相談会

心配や悩みごとを相談してみませんか?

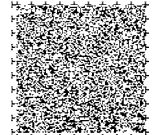
- 面談日 8月10日(土)
8月22日(木)
13時30分～
15時30分
(※毎月第2土曜日・第4木曜日)

※予約制となっております。事前に下記の問い合わせ先までお電話ください。

(※右記のQRコードよりほっと館やめホームページをご覧になれます。)



問い合わせ	ほっと館やめ	ほっと館やめ(上陽)
	☎22-8315 携帯090-6893-5701 メールアドレス: hottokan@road.ocn.ne.jp	☎24-9820 携帯090-7457-4053 メールアドレス: hottokanjyoyo@gaea.ocn.ne.jp



※ほっと館やめでは、✉メールでの相談も受付けています。お気軽にご活用ください。



福祉サービス苦情解決事業 について（お知らせ）

利用している福祉サービスについて、お困りのことはありますか？

福祉サービス苦情解決事業は福祉施設・事業所や在宅等で提供される福祉サービスに関する苦情の解決を図る事業です。

「職員の言葉づかいかいや態度が悪く、傷ついた」「サービス内容が契約と違う」「事故やケガについての説明や対応に納得できない」等の福祉サービス利用時の苦情について、事業所と話し合いで解決しない場合はご相談ください。相談は無料です。

対象者は現在、福祉サービスを利用している方やその家族の方、契約内容を把握されている方等です。※内容に応じて、他の機関をご案内することがあります。

●問い合わせ

福岡県運営適正化委員会 事務局
☎ 092(915)3511
毎週月曜～金曜 9時～17時
(※祝日及び年末年始を除く)



「福岡県介護に関する入門的 研修（筑後地区）」のご案内

これまで介護と関りがなかった方等、介護未経験者が介護に関する基本的な知識を身につけるとともに、介護の業務に携わるうえで知っておくべき基本的な技術を学ぶことを目的に下記のとおり開催されます。

●日時

	【A日程】	【B日程】
1日目	10月17日(木)	12月14日(土)
2日目	10月24日(木)	12月21日(土)
3日目	10月31日(木)	令和7年1月11日(土)
4日目	11月7日(木)	令和7年1月18日(土)
5日目	11月14日(木)	令和7年1月25日(土)

開始時間10時～ ※終了時間は日程によって異なります。

●会場 久留米ビジネスプラザ
(久留米市宮ノ陣4-29-11)

●内容 介護に関する基本的な知識

●対象 介護未経験者の方(定員50名・先着順)

●参加費 無料

●問い合わせ 福岡県社会福祉協議会 福祉人材センター
☎ 092(584)3310

●HPアドレス <https://www.fuku-shakyo.jp/jinzai/>

入門的研修概要

申込フォーム



地域献血のお知らせ

皆さまのあたたかいご協力をお願いします

【献血の基準(400ml献血の場合)】

- 年齢：男性17～69歳 女性18～69歳
※65歳以上の献血については、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
- 体重：男女とも50kg以上
- 最終的な献血の可否は、ご本人様の当日のご体調等も勘案し、献血会場の健診医師が総合的に判断いたしますので、あらかじめご了承ください。

●日時：8月15日(木)
10時～11時30分/12時30分～15時30分

会場：「おりなす八女」

●日時：8月21日(水)
10時～12時/13時～15時30分

会場：八女市立花総合保健福祉センター「かがやき」

●問い合わせ：八女市献血推進協議会(八女市社会福祉会館内)
☎ 23-0294

【お詫びと訂正】

7月号やめ社協だよりに掲載しておりました令和6年度 八女市献血予定表の献血開催場所の名称に誤りがありました。深くお詫び申し上げます。

8月21日(水)、3月18日(火)
献血会場(訂正前)八女市立花市民センター「かがやき」

(訂正後)八女市立花総合保健福祉センター
「かがやき」



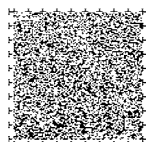
八女市社会福祉協議会

福祉総合相談センター

お気軽にご相談ください(窓口でのご相談もできます)

本所(八女市社会福祉会館内)	☎ 23-0294 携帯090-8661-3684
上陽支所(八女市地域福祉センター内)	☎ 54-3629
黒木支所(地域交流センターふじの里内)	☎ 42-2131
立花支所(立花総合保健福祉センターかがやき内)	☎ 37-0036
矢部支所(総合福祉団地ゆいのもり内)	☎ 47-3123
星野支所(星野総合保健福祉センターそよかぜ内)	☎ 52-3165

困っているけど、どこに相談していいかわからない。そんな時は、福祉総合相談センターまでご連絡ください。



八女市社会福祉協議会
公式LINEアカウント

友だち追加用QRコード



聞こえる安心、防災ラジオ

八女市の防災等緊急情報はFM八女[80.1MHz]を通じて放送します。



リサイクル適性(A)

環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

相談
無料


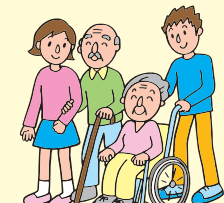

8月

9月

各種相談

のお知らせ

秘密
厳守

開催日	社協本所 社会福祉会館 TEL 23-0294	黒木支所 地域交流センター(ふじの里) TEL 42-2131	上陽支所 地域福祉センター TEL 54-3003
心配ごと相談	第1・3・5水曜日 (13:30~16:00)	第3水曜日 (9:30~12:00)	
8月	7・21日	21日	
9月	4・18日	18日	
無料法律相談 (要予約)	第2金曜日 (13:30~16:00)	第3金曜日 (13:30~16:00)	第4金曜日 (13:30~16:00)
8月	9日	16日	23日
9月	13日	20日	27日
司法書士相談	第3金曜日 (13:30~16:00)	第2金曜日 (13:30~16:00)	
8月	16日	9日	
9月	20日	13日	
社会保険労務士相談 【障害年金関係】	奇数月 第4水曜日 (13:30~16:00)		
8月			
9月	25日		

相談窓口については、ご都合のよい会場へお越しください。

ご寄附ありがとうございました
令和6年6月1日~6月30日届



寄附金は、地域のサロンやボランティア活動等、地域の身近なところで行われる福祉活動に大切に使用させていただきます。

香典返し寄附

■社協本所受付分

○長野 富山みや子 様

○(亡)夫 富山 實 様

○今福 松延 勝彦 様

○(亡)母 松延 千トエ 様

■上陽支所受付分

○轟 川口 大八 様

○(亡)母 川口 アイ子 様

○山内 内山 朱美 様

○(亡)母 田中 絹代 様

■黒木支所受付分

○大阪府 吉泉 清徳 様

○(亡)母 吉泉 千ヨノ 様

■立花支所受付分

○中辺春 中村 政治 様

○(亡)母 中村 ミツヨ 様

○白土 筒井功美子 様

○(亡)夫 筒井 章雄 様

○漆谷 野中 和幸 様

○(亡)母 野中 子末 様

■矢部支所受付分

○今屋敷 仁田原千代子 様

○(亡)夫 仁田原 公 様

■星野支所受付分

○上郷1区 谷口 利彦 様

○(亡)母 谷口 ミエ子 様

○小野1区 石橋 忠弘 様

○(亡)母 石橋 スマエ 様

○東木屋 合原 幸男 様

○(亡)妻 合原 力 様

○下町 石崎 勝幸 様

○(亡)母 石崎 幸子 様

○南本分 山下 京子 様

○(亡)夫 山下 重巳 様

○東木屋 古賀 則夫 様

○(亡)母 古賀 タツ子 様

○上北本分 山根 和美 様

○(亡)夫 山根 勲 様

【お詫びと訂正】

7月号やめ社協だよりに掲載しておりました「げんき塾と一緒に運動しませんか〜」(P.7.)の記事で、問い合わせ先に誤りがありました。深くお詫び申し上げます。

(訂正前) 問い合わせ先: 24-3171 (平島代表)



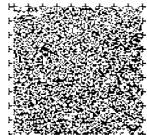
(訂正後) 問い合わせ先: 24-3471 (平島代表)



八女市社会福祉協議会は税制上の優遇措置(寄附金控除)が受けられる法人です。



本会へのご寄附は、確定申告をされることにより、税額控除が受けられます。



「やめ社協だより」は、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。

